

## 解説・ ニュースの焦点

### NEWS 1

日体大とマナーキッズプロジェクトがスポーツ・健康で合意書

### NEWS 2

ネットの病的使用者、中学12・4%、高校16%に

## 日体大とマナーキッズプロジェクトが スポーツ・健康で合意書 本誌編集部

学校法人日本体育大学と公益社団法人マナーキッズプロジェクトが9月13日、体育・スポーツ・健康の活動全般について協力しあう合意書を締結した。日体大は地域への社会貢献活動や学生の教育活動として「マナーキッズプロジェクト」ではスポーツや文化活動を通して「体・徳・知」のバランスのよい児童の育成で協力体制を構築する（編集部）

日本体育大学（松浪健四郎理事長）は、1891年の創設以来、スポーツを基軸に教育や健康・福祉等の分野を中心に多くの人材を育成してきた。前回の東京オリンピックを契機に優れたアスリートの養成にも力を入れている、日本のスポーツ界の国際競技力向上に貢献してきた。今後も「スポーツ、身体、健康」をキーワードに教育と研究、社会貢献活動に取り組んでいく。公益社団法人マナーキッズプロジェクト（田中日出男理事長）は幼稚園・保育園、小学校でシヨートテニスなどのスポーツや文化活動を通して、日本の伝統的な礼法を体験し、「体・徳・知」のバランスのよい子供を育てる活動を全国で展開してきた。

既に35万人を超える園児や児童が参加しているほか、38都道府県の418小学校等で体育と道徳を融合させた出前授業などを実施してきた。同時に、マナーの確立や体幹を鍛える運動なども進めてきた。

### 相互の人材育成などで協力

今回の合意書では、

- ①相互の体育・スポーツ・健康事業にかかわる活動全般に関する協力
- ②相互の人材育成、人的支援に関する協力
- ③日体大の学生・生徒・園児の教育や就職活動等に向けた調査・情報支援
- ④その他、協議の上、必要と認める分野に関する協力を進める

ーとしている。

### マナーキッズ活動などで単位も

相互協力では、日体大の学生や卒業生がマナーキッズ講師養成講座を受講して、マナーキッズ教室の普及発展に協力していく。学生のインターンシッププログラムの一つにマナーキッズ活動を加えて、地域や学校などでの活動に「単位」認定していくことなどを検討している。

マナーキッズプロジェクト側も、東京都墨田区や茨城県常総市、北海道当別町などで、「おもてなしの心」を発信したり、ヘルス&マナーコミュニティ活動などを通して、あいさつ運動や体力増強運動などを進めている。



左から今村裕・日体大常務理事、田中日出男・マナーキッズプロジェクト理事長